

環境マネジメント

基本的な考え方

ミネベアグループでは、環境マネジメントシステムを構築し、グループ全社にて環境保全に努めています。

これまで当社グループでは環境保全活動の取り組み方針として、「ミネベアの環境ビジョン」を制定し、取り組んできましたが、2012年度の内容改定に合わせて、「ミネベアグループ環境方針」に名称を改めました。また、新たに「国際社会への貢献」の方針を設け、当社グループが自ら開発した環境保護技術を公開することや、当社グループの事業活動が生物多様性に影響を与える可能性を認識し、自然界の保護に努めることを加えました。

「ミネベアグループ環境方針」に対する具体的な取り組みとして、エネルギー効率の高い設備、プロセスを採用し、CO₂を主とする温室効果ガス排出量の削減を進めていきます。また、原材料、水などの資源を保護するために、工場からの廃棄物、排水が最小限となるよう、取り組みを強化しています。同時に、高効率モーター、高効率照明、高効率エネルギー変換デバイス、およびそれらのエネルギーマネジメントのキーとなる制御技術やセンサー、新素材の開発などにも積極的に取り組み、環境に配慮した製品を供給していきます。

ミネベアグループ環境方針

1993年8月26日制定
2012年6月1日改定

ミネベアグループは、経営の基本である「五つの心得」に従って、環境に配慮した事業活動を行い、地球環境保護および人類の持続的な発展に貢献します。

① 環境に配慮した製品の開発・設計

「環境・健康・安全にとって有害な物質を含まない製品」、「エネルギー消費の少ない製品」、「高信頼性かつ長寿命の製品」をお客様に提供することを目指し、原材料・部品・副資材の選定にはじまり、製品の使用から廃棄に至る全ての過程で環境負荷の少ない製品の開発・設計に取り組めます。

④ 国・地方自治体・周辺地域への環境配慮

グループの事業所が立地する国、地方自治体の環境に関する法令、規則を遵守すると共に、地域社会の環境保護活動に協力することにより社会に貢献します。

② 生産時の環境配慮

「歩留まりの向上とスクラップの削減」、「使用するエネルギー量の削減」、「3R（リデュース、リユース、リサイクル）による廃棄物の削減」、「汚染の予防」等、環境に配慮した生産活動を行い、かつ継続的な改善に努めます。

⑤ 国際社会への貢献

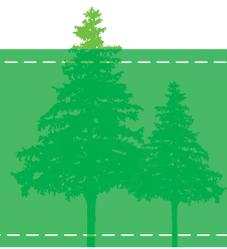
自ら開発した環境保護技術は、これを広く社外に公開することにより、国際社会の環境保護活動に貢献します。また、グループの事業活動が自然界の生態系や生物多様性に影響を与える可能性を認識し、自然界の保護に努めます。

③ 調達・物流時の環境配慮

「有害な物質を含まない原材料・部品および副資材の調達」、「CO₂排出量削減を含め環境負荷の少ない物流手段の選択」等により、調達と物流を環境に配慮したものとします。

⑥ グループ従業員の環境保護意識の高揚

この環境方針をグループ全体に周知し、従業員一人ひとりが積極的に環境保護活動に取り組みます。



環境マネジメントシステム

●環境マネジメント体制

ミネベアグループでは、「ミネベアグループ環境方針」を実践するために、取締役会、社長執行役員をトップとした、環境マネジメント体制を構築しています。全体の推進組織として役員を中心とした環境マネジメント委員会と実務者によるグループ環境対策委員会を設置し、環境政策について迅速に対応できる体制としています。また、各事業所に事業所環境管理総括責任者と環境管理責任者を配し、部門ごとに具体的な環境保全活動を推進しています。

●環境監査

ミネベアグループでは、世界中の主要拠点においてISO14001認証の取得を推進しています。2011年度は、米子工場および第一精密産業中国工場において新たに認証を取得しました。この認証を維持するために、第三者機関による外部監査と、社内監査員による内部監査をそれぞれ年1回行っています。

また、内部監査実施のために、外部監査員資格を持つ従業員やベテランの内部監査員が講師となり、内部監査員の養成研修を毎年実施しています。



内部監査の様子(米子工場)

環境教育

●基本的な考え方と取り組み

ミネベアグループでは、一人ひとりの環境意識を高めるため、新入社員、中途採用社員全員を対象に環境マネジメント基礎教育を実施しています。また、一般環境教育として、ミネベアグループ環境方針や目的・目標、実施計

画などの教育を全従業員を対象に実施しています。

このほかにもISO14001内部監査員教育や、廃棄物管理教育、災害などの緊急事態を想定した訓練などを実施しています。

●グループ環境新聞「ハロー環境!」の発行

ミネベアグループでは毎月の決められた教育テーマに沿って、従業員が容易に読みやすく、学ぶことができる環境新聞「ハロー環境!」を発行し、環境教材として従業員に配布しています。

記事の内容はグループ内の環境活動だけでなく、日常生活にかかわる情報も掲載しています。2000年1月に浜松工場単独の環境新聞として第1号を発行してから、現在のグループ環境新聞2012年3月号まで、通算142号を発行しました。

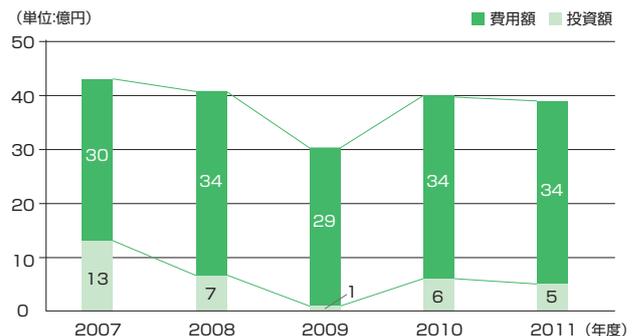


グループ環境新聞「ハロー環境!」

環境会計

ミネベアグループは、環境保全対策へのコストとその投資効果を認識するため、環境省が発行する「環境会計ガイドライン2005年版」を参考に、環境会計の集計を行っています。当社グループの2011年度の環境保全コストの総額は3,941百万円で、2010年度と同規模の取り組みを実施しました。

▶2007年度～2011年度の環境保全コストの推移



環境マネジメント

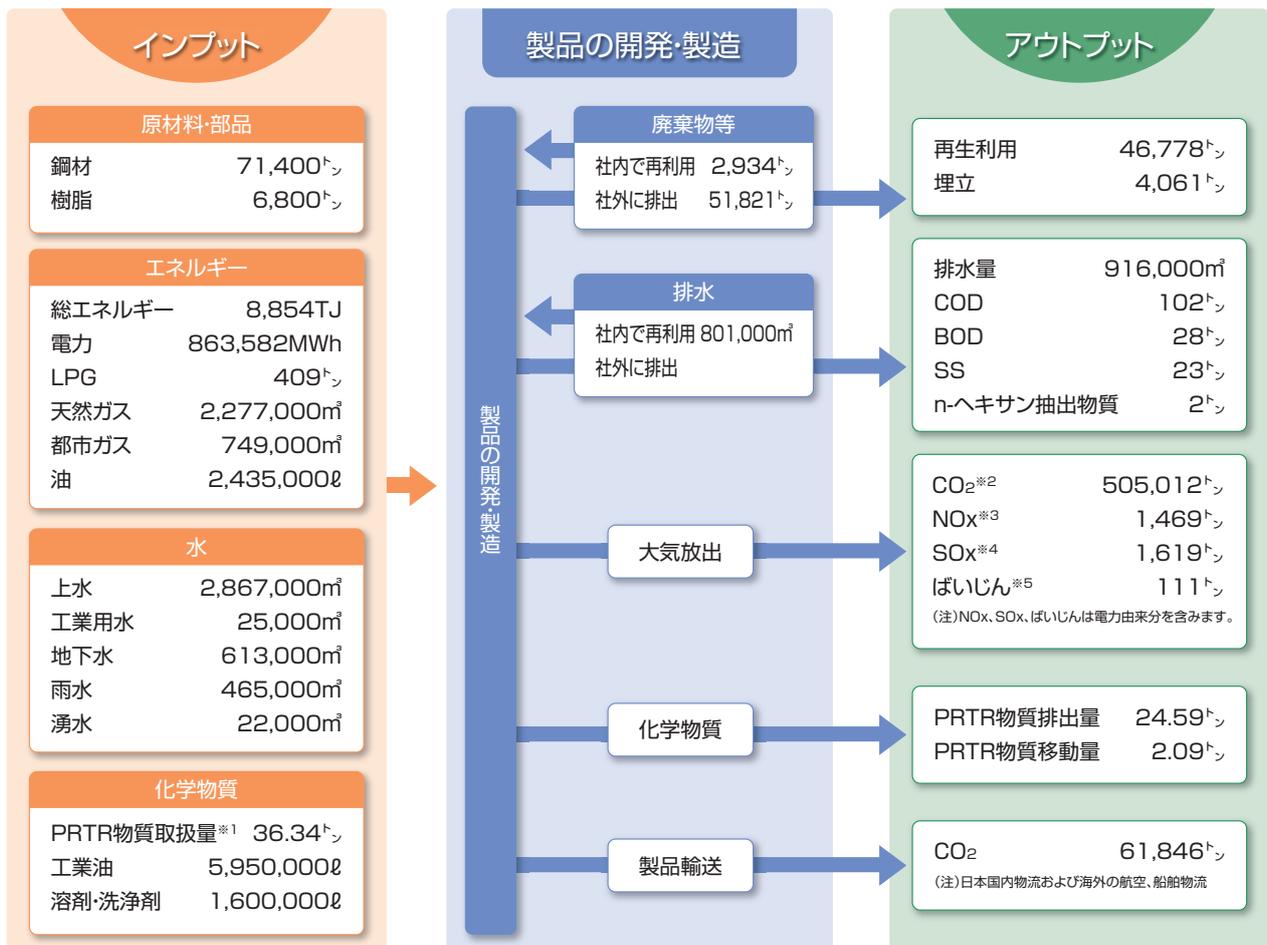
生物多様性保護への取り組み

ミネベアグループでは、2012年度に改定した「ミネベアグループ環境方針」に「国際社会への貢献」を加え、グループの事業活動が自然界の生態系や生物多様性に影響を与える可能性を認識し、自然界の保護に努めることを表明しました。具体的な取り組みとして、まず始めに当社グループと生物多様性とのかかわりを調査し、事業活動における影響を把握することが重要と考えています。その後、当社グループとしての活動方針を検討する予定です。

ミネベアの環境負荷

ミネベアグループは、世界18カ国に製造、販売拠点を

▶インプット・アウトプット(2011年度実績)



*1 PRTR物質：PRTR法(化学物質排出把握管理促進法/日本国内法)により排出量・移動量を把握し、届け出を定められた化学物質

*2 CO₂：二酸化炭素

*3 NO_x：窒素酸化物

*4 SO_x：硫酸酸化物

*5 ばいじん：燃焼、加熱および化学反応などにより発生する排出ガス中に含まれる粒子状物質